

能登・和倉温泉「企業コンソーシアム」設立へ。震災から2年、 実行フェーズへ移る「創造的復興シンポジウム」を2月19日開催

まちづくり会社「わくらす」新設。企業コンソーシアム設立に向け、車座対話で挑む
官民共創



和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会（石川県七尾市／代表：多田 健太郎（多田屋社長））は、2026年2月19日(木)、ステーションコンファレンス東京（東京都千代田区）にて2回目となる「和倉温泉創造的復興シンポジウム」を開催いたします。

本シンポジウムでは、復興の実行主体となる新会社「株式会社わくらす」の設立に加え、先行して再生に着手する3つのエリア（パイロットプラン）等について報告します。またシンポジウム後半には車座形式にて全員参加型の討論を実施。企業コンソーシアムの設立に向けてどのような検討が進められているのかをリアルに体感いただく場とします。

■開催背景：出席者から「プレイヤー」へ。企業コンソーシアム設立に向けた動き

震災から1年となる2025年3月、和倉温泉では行政主導のインフラ復旧に加え、民間事業者の柔軟なアイデアと実行力を掛け合わせた「官民共創」によって、2040年を見据えた「創造的復興」を目指し、「和倉温泉創造的復興プラン」を策定しました。発表にあたり、同年3月には東京・八重洲にて復興プラン公式発表を中心としたシンポジウムを開催し、復興に関わる省庁・企業・団体との議論を行いました。

和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会



2025年3月開催「和倉温泉創造的復興プラン公式発表&復興キックオフセッション」
にて撮影した関係省庁・企業・団体との集合写真

それから1年が経過し、復興のフェーズは「構想」から「実行」へと移行しています。前回ご参加いただいた企業のうち、既に数社と具体的な共創プロジェクトが始動しており、各社は「出席者」から「プレイヤー」へとその関わりを深化させています。

今回のシンポジウムは、将来的な「企業コンソーシアム」の設立も見据え、共に地域課題へ向き合うパートナーとの関係構築を図る場として開催します。単なる受発注の関係を超え、組織として責任を持って合意形成から実行までを共に担っていただける企業の皆様と、新たな出会いと対話の機会を創出します。

■地元×企業の取り組み：6つの復興プロジェクトチームの組成

現在、和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会では、復興プランの具体化・実現化に向けて6つのプロジェクトを推進しています。各プロジェクトは、協議会に所属する地域リーダーと、大手損害保険会社、総合建設コンサルタント、地域電力会社、旅行商社などの専門企業による官民混成チームで編成され、すでに実証実験や計画策定に着手しています。

各プロジェクトの取組内容は2025年3月に公開した復興プランよりご確認いただけます。
【和倉温泉創造的復興プラン】 <https://wakura.org/223-2/>

地域が一丸となったプロジェクトの推進体制

和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会に所属する地域リーダーと協力企業によって構成される各プロジェクトチームでさまざまなプロジェクトを推進します。また、和倉地区官民連携会議などを通じて七尾市などの関連機関とも協議しながら、具体的な復興事業の実現に向けて取り組みを推進していきます。



協力企業が関わる復興プロジェクトチーム（赤線で囲った部分）

引用：和倉温泉創造的復興プラン

■シンポジウム開催概要

- **名称：**第2回 和倉温泉創造的復興シンポジウム
- **日時：**2026年2月19日(木) 15:00～19:00 (開場 14:30)
- **会場：**ステーションコンファレンス東京 (東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー 5F)
- **対象：**和倉の復興に関心のある民間事業者、クリエイター、メディア、行政関係者
- **主催：**和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会
- **定員：**200名 (予定)
- **参加費：**無料 (要事前申込)
- **申込方法：**Peatixイベントページよりお申し込みください
<https://wakuraonsen-buildbackbetter-2026.peatix.com>

※内容は変更となる可能性がございます。最新のプログラムはPeatixイベントページにてお知らせいたします。

※このシンポジウムは「能登半島地震からの復興に向けた観光再生支援事業」として開催いたします。

■主な登壇者

- **多田 健太郎** (和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会 代表／多田屋 代表取締役社長)
- **奥田 一博** (株式会社わくらす 代表取締役社長／奥田屋 代表取締役社長)
- **茶谷 義隆** (七尾市長)
- **浅野 大介** (石川県副知事)
- **清水 哲夫** (東京都立大学 都市環境学部 観光科学科 都市環境科学研究科 教授)
- **関係省庁・協力企業プロジェクト担当者**
ほか、数名が登壇予定

■お問い合わせ先

【報道関係者お問合せ先】

広報担当：Kiwi PR合同会社 植田

MAIL：info@kiwipr.jp

【本イベントに関するお問合せ先】

イベント担当：株式会社花咲爺さんズ 塩谷、加藤

MAIL：wakura.onsen.symposium@h-g3z.com